

アフィリエイト 攻略の羅針盤

サンプル

はじめに

『アフィリエイト攻略の羅針盤』を手にしていただき、本当にありがとうございます。
この教材では、僕がおよそ10年間アフィリエイトをやってきて、結果に直結すると確信しているリアルなノウハウが書かれています。これは理想論を書いたものではなく、アフィリエイトというビジネスで稼ぎ続けるための現実的なお話です。

また、この教材を作った僕自身、現在進行系でサイトを作り続けている現役アフィリエイターです。そのため、日々ノウハウや気付きが新たに見つかります。この教材では、そんな最新の情報を随時追加していき、加筆修正を行っていきます。最新の更新情報はお申込み時に登録いただいたメールアドレスにお送りさせていただきます。

一応、このテキストは、すでにアフィリエイトをやっている人を対象に作りました。
そのため、『アフィリエイトとは何なのか？』や『WordPressの使い方』というような基本的な話はしていません。あくまでも、ここではなぜ僕がアフィリで月100万以上を安定的に稼ぎ続けられるのか？という点にフォーカスし、他の人との違いについて詳しく解説していきます。
もし、アフィリエイトの『ア』の字もわからないというような初心者の方の場合には、まず『アフィリエイト やり方』などで検索をして、基本的な知識を身に付けてからこのテキストを読んでください。（基本的な内容は無料で書かれている情報のみでOKです）

あなたが初心者なのであれば、わからない言葉を検索しながら読み込んで実践。
中級者なのであれば、忠実に実践。
上級者なのであれば、必要な部分のみを吸収してください。
完全初心者の方は難しく感じるかもしれませんが、ここに書かれていることを知っているかどうかで稼ぐスピードが数年単位で変わってくると思います。

目次

- 実際に僕がやっているアフィリエイト手法
- 厳しいと言われている状況でも報酬を伸ばし続けられている理由
- これから作るべきサイトの理想像
- サイト作成の流れ
- 商品選定・メインKWの選定
- 中古ドメインの選び方
- サイト設計&下層キーワードの選定
- 記事の執筆方法
- 高確率で上位を取れている最新のSEO対策
- 報酬を加速させるSerch Consoleの分析法
- 今後のアフィリエイトで重要なこと
- アフィリエイトで爆発的に稼ぐために最も重要なこと
- 購入者様&コンサルクライアント様から頂いたQ&A

※本教材ではスペースの関係上、いくつかの独自の略語を用いています。

以下のことを念頭においてから読み進めてください。

- KW=キーワード
- ブラック、ホワイト=ブラックSEO、ホワイトSEO

実際に僕がやっているアフィリエイト手法

僕がASPアフィリエイトで現在やっているアフィリエイト手法をいくつかに分類し、まずは簡単にまとめてみました。

- ・ 中古ドメイン×被リンクで商標サイト
- ・ 中古ドメイン×被リンクで大型～中規模のジャンルサイト
- ・ 新規ドメイン×被リンクで大型～中規模のジャンルサイト
- ・ 新規ドメインオンリーの完全ホワイトサイト

今までには新規ドメインで商標サイトを作ったり、中古を一切使わない戦略などもやってきました。多分、考えるサイトアフィリエイトの手法はほとんどすべてやりました。そのなかで、今でもやっているのが上に挙げた4つです。

そして、これを現在の手持ちサイトの割合で並べると以下のようになります。

1. 新規ドメイン×被リンクで大型～中規模のジャンルサイト
2. 中古ドメイン×被リンクで大型～中規模のジャンルサイト
3. 中古ドメイン×被リンクで商標サイト
4. 新規ドメインオンリーの完全ホワイトサイト

昔は新規ドメインしか使っておらず、被リンク対策などもしてきませんでした。
いわゆる、完全ホワイトハットでのサイト運営のみで、月300万程度を稼いでいました。

ただ、『完全ホワイトでも飛ぶときは飛ぶ』ということを知ってからは、サイト運営の方針を大きく変えました。

転機となったのが、2017年末に実施されたアップデートです。

『健康アップデート』などと巷で呼ばれているコアアルゴリズムの変更は、当時健康系をメインでやっていた僕にとってめちゃくちゃ大きなダメージとなりました。

どれくらい大きなダメージだったかというと、
2017年11月の報酬が310万円程度だったのに対して、2018年1月の報酬は80万円程度まで落ちてしまいました。

『80万円も稼げてるなら良いじゃん！』って思われる方も多いかもしれませんが、300万円を稼いでいたということは、それなりに経費も出ていっているということです。

僕の場合には法人化しているので、税理士に支払う顧問料や弁護士費用、スタッフさんへの給与などの人件費は結構大きなものでした。

この大幅な報酬減少を通じて学んだのは、『**サイトは資産ではない**』ということです。

ホワイトハット

メインサイト

- ・メインサイトのみで報酬を狙いに行く手法。
- ・バックリンクを使ったSEO対策は行わず、コンテンツのみで勝負する方法。

アフィリエイトは確かに大きく稼げますが、手放しで稼げるようなビジネスモデルではありません。

こんなことを聞くとがっかりする人も多いかもしれません。

ただ、これが現実であり、事実なので、これから本気でアフィリエイトをやっていくのであれば絶対に知って置かなければならないことです。

僕は昔、『サイトは資産になる』とっていました。イメージ的には、不動産収入のような感じです。しかし、今思うとこれは非常に危険な考え方だったと思います。

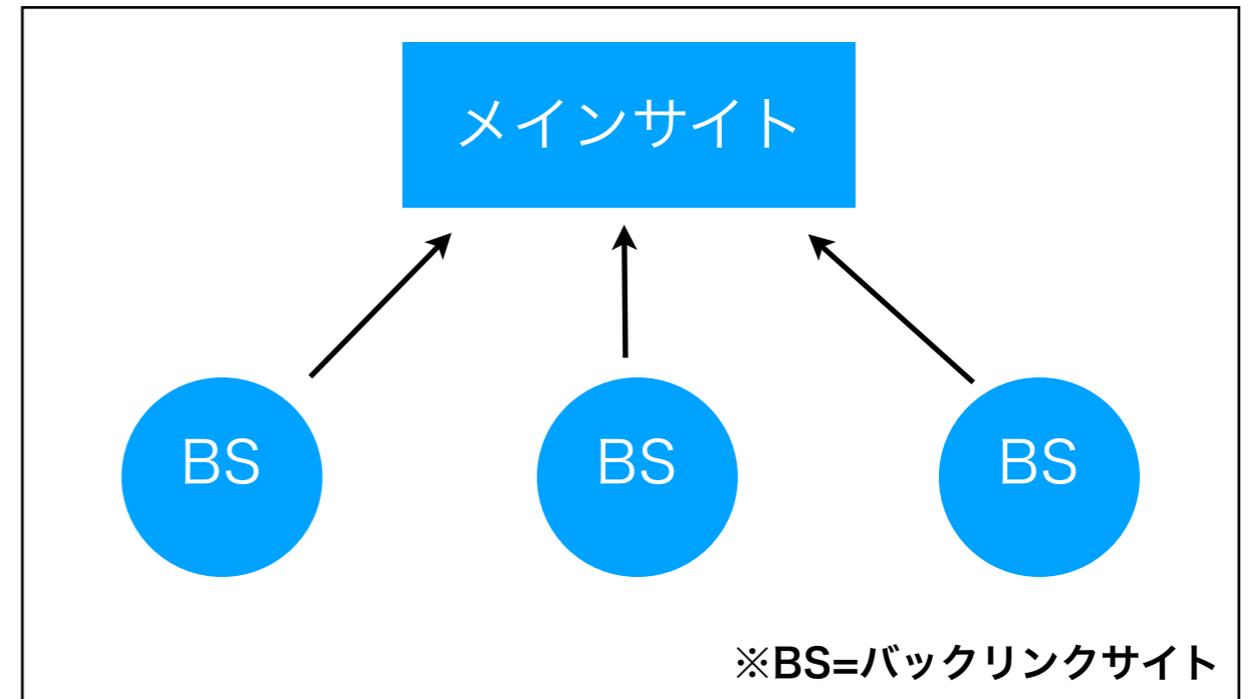
人それぞれ置かれている環境が違うので一概には言えませんが、僕はあくまでもアフィリエイトをビジネスとして考えています。

副業やお小遣い稼ぎではなく、専門のアフィリエイターとして、会社の経営者として、安定的かつ長期的に稼ぐためにはどうすればいいのか？と毎日のように考えてアフィリエイトをやっていきます。

そういう僕からすると、完全ホワイトで丹精込めて作ったサイトを資産サイトと思い込み、その報酬がずっと続いていくと考えることなど到底出来ません。

どちらもやってきたからこそ分かりますが、アフィリエイトをビジネスとしてやっていくのであれば、ブラック的な手法は導入していかないと話にならないと思っています。

ブラックハット



自作自演の被リンクによる意図的な上位表示。
検索エンジンのガイドライン的には禁止されている。

ネットでアフィリエイト関連のブログなどを見ていると、『完全ホワイトで稼ぐことが素晴らしい！』みたいなブログを良く見かけます。

ただ、僕は安定的に大きな報酬を稼ぎ続けているアフィリエイターのなかで、**本当に完全ホワイトのみで稼ぎ続けている人はほとんど知りません。**

ブログで稼いでいる人のなかにはそういう人もいますが、これは特殊な例でしょう。

誰とは言いませんが、完全ホワイト！などとブログでは言いながらも、実際はバリバリブラックな人も複数知っています。

完全ホワイトというと、めちゃくちゃ聞こえが良いですし、なんか聖人君子のような感じがしますよね。

僕も完全ホワイトでのサイト作りこそ本物と思っていたので、よく分かります。

でも、正直それは綺麗事です。

よく言われますが、めちゃくちゃ良いサイトを作ったところで、それが誰の目にも触れなかったらどうですか？

想像を絶するような努力でめちゃくちゃ美味しい料理を作って、誰もいない無人島にお店を出す。

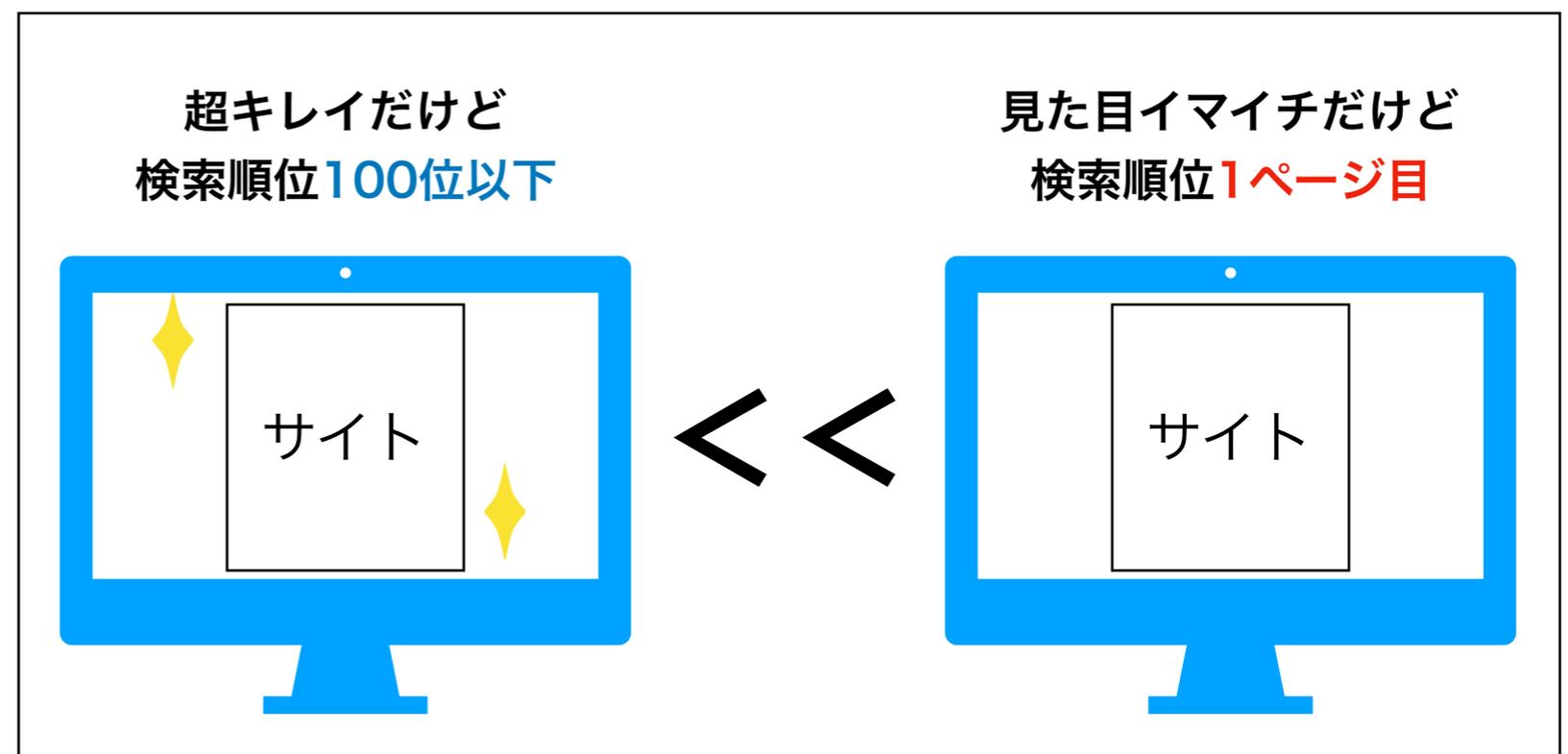
それと一緒にです。

ホワイト信仰が強すぎる人のなかには、この現象に陥っている人が多すぎます。

もちろん、ホワイトを否定しているわけではありません。

僕もホワイトでずっとやって来た過去があるので、どちらかと言えばホワイトメインで考えています。

事実、前述したとおり完全ホワイトのサイトもいくつか保有しています。



ここまで話した内容から、もっとも効果的なサイト作成をするためには以下のような結論に行きつきました。

| | |
|---------|------|
| コンテンツ | ホワイト |
| 集客(SEO) | ブラック |

SEOでは一部ブラック的手法を使用しますが、コンテンツは完全ホワイトです。ユーザー目線に立ち、徹底的に役立つコンテンツを作っていきます。

※ちなみにブラックなコンテンツには、ツール記事や自動的な文節組み換え記事の量産などがあります。

被リンクは今でも効果があるのか？

代表的なブラックハットSEOに被リンクがあります。

アフィリエイト、もしくはSEOを少しでもかじったことがある人なら、自作自演の被リンクに効果があるというのを1度くらいは聞いたことがあるでしょう。

ただ、一般的には被リンクの時代は終わったというような風潮があります。

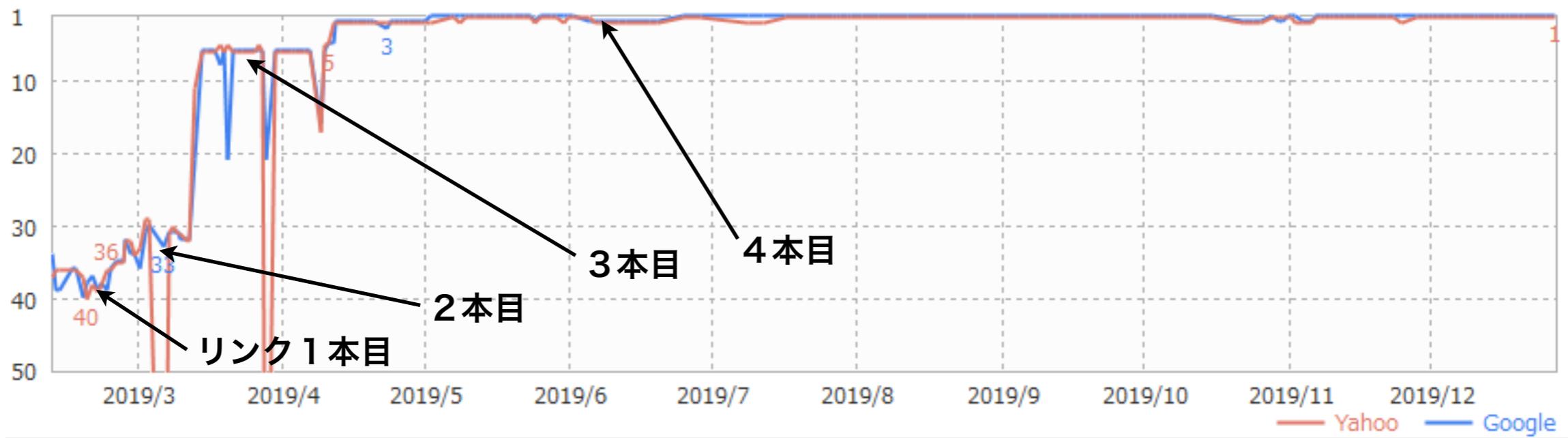
しかし、これは**真っ赤な嘘**です。

被リンクの時代は終わったどころか、**今なおもっとも効果のあるSEO手法**です。

これを裏付ける根拠はいくつもあります。

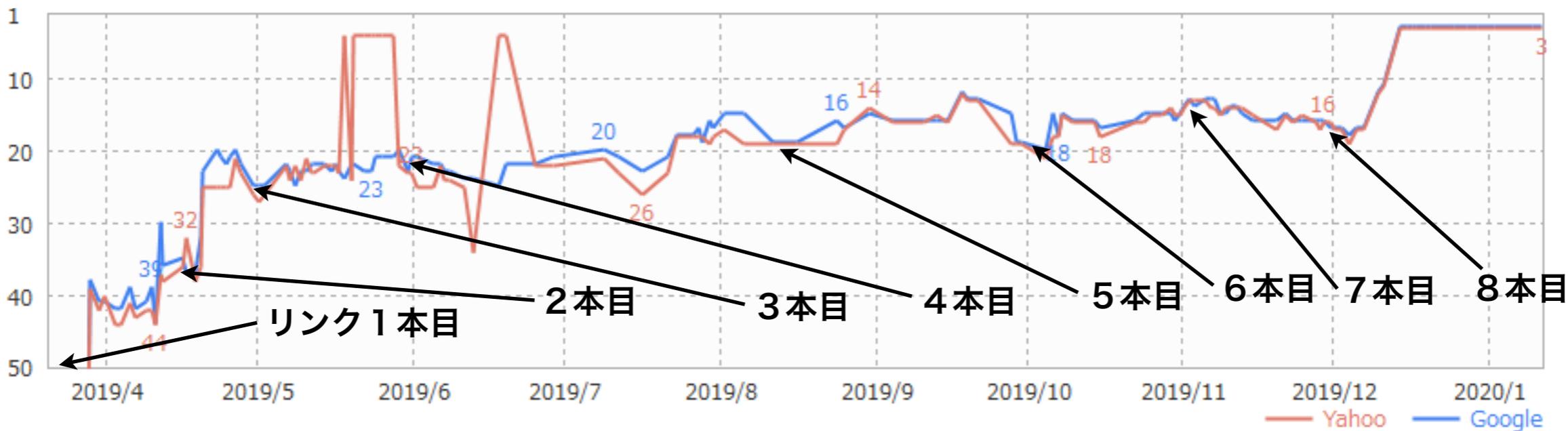
一番は、僕が実際に検証してきたデータを見るのが分かりやすいでしょう。

例えば次のデータを見てください。(GRCという順位計測ツールの画面です)



これはとある商標サイトの順位変動です。
このサイトは約5ページほどのサイトで、メインKWでこのような順位変動をしました。

また、こちらもお覧ください。



こちらはジャンル型のサイトで、一般KWをメインにしています。
ある程度難しいKWなので、上位を取るまでには時間がかかっていますが、ある程度きれいに上がってきているのが分かります。

ここに紹介したのはごく一部で、他にも100サイト以上の検証をしてきた結果、今なお効果があることを僕自身実感しています。

また、試しに『**筋トレ**』というワードで検索してみてください。

順位は常に変化するので、皆さんが検索したときがそうになっているかは分かりませんが、これを執筆している2020年1月時点では右下のような検索結果になっています。

1位にいるサイトに注目してみてください。

Description（サイトタイトル下の詳細説明欄）を見てみると、筋トレとは程遠い内容であることが分かります。

そして、このサイトのコンテンツが次のページです。

筋トレ

すべて 動画 画像 ニュース ショッピング もっと見る 設定 ツール

約 108,000,000 件 (0.35 秒)

st.sakura.ne.jp > ~iyukari ▼
筋トレ
note : 石井Webマガジン. noteで、星占いに関することや関係ないことなどを書いています。古い筋トレメルマガの星占い関連記事等をサルベージ中。上のメニューバーの「マガジン」からも飛べます。
2019年の星占い・メールマガジン・バックナンバー・星占い系、お役立ちリンク集

smartlog.jp > ... ▼
筋トレの"全て"が分かる | トレーニング初心者が見るべき筋肉の ...
男性女性ともに鍛え方のあらゆる疑問にお応えした筋トレ大辞典を大公開します。メリットや効果、初心者でも簡単に筋肉を付けるおすすめトレーニング、1週間のメニュー、食事、筋トレで使いたいグッズや鍛えるべき筋肉まで徹底解説します。筋トレの全てを知っ ...
【家でできる筋トレ】初心者でも ... · 【全て分かる】プロテインとは？

www.s-re.jp > magazine > health ▼
理想的な筋トレの頻度は？初心者が長く続けるためのコツ
2019/11/01 - 筋トレを始めるとなると、週にどれくらいの頻度で取り組めばいいのか悩む方もいると思います。特に初心者の場合、毎日ジムに通う必要はなく、続けられる範囲の頻度でメニューを組み立てることが、長く継続するためのコツといえるでしょう。

『筋トレ』と検索した人が求めている最適なコンテンツになっているのでしょうか？

Googleのアルゴリズムによれば、ユーザーが求めている最適なコンテンツの順番に並ぶようになっているはずですよ。

では、なぜこのサイトが1位にいるのでしょうか？

しかも、このサイトはほぼこのトップページのみしかありません。

つまり、1ページもののペラということですよ。

さらに、僕が知る限り、このサイトは少なくとも半年間は1位をキープしています。

他にも、このように被リンクによるSEO対策に効果があると仮定しないと説明が付かないことが多すぎるんですよ。

もし本当に被リンクに効果が無いのだとしたら、『筋トレ』という超難関KWで、ここまで簡素なページを上位表示できているのはどんな理由があるのでしょうか？

星占い等テキストコンテンツサイト

筋トレへようこそ！

[Home](#) [note](#) [星読み](#) [about](#)

What'sNew!

★ 『石井ゆかりの星読み』、デザインが新しくなりました！

★ 12星座別『星栞 2020年の星占い』
『星ダイアリー2020』「総合版」「恋愛版」
『月で読む あしたの星占い』
大好評発売中ですよ！

週報への道

石井ゆかりが習慣で、ちがう、週刊でホロスコープをながめます。週末更新ですよ。

[牡羊座](#)

[牡牛座](#)

[双子座](#)

[蟹座](#)

[獅子座](#)

[乙女座](#)

[天秤座](#)

[蠍座](#)

[射手座](#)

[山羊座](#)

[水瓶座](#)

[魚座](#)

[全体の空模様](#)

[バックナンバー](#)

SEOの現状

SEOに対して深く理解するためにも、SEOの歴史から現在までを簡単に見ておきます。

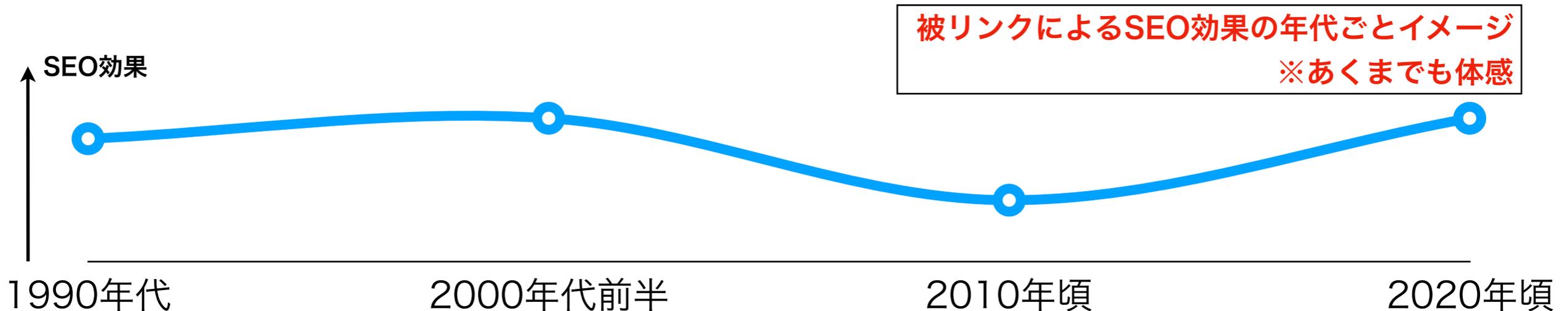
検索エンジンでの上位表示を目指すという意味で、本格的なSEO対策が始まった当時、上位表示をさせるのはとても簡単でした。というのも、検索エンジンは検索ボックスに打ち込んできたKWが対象のページに存在しているかどうか？しか判断できなかったためです。

その結果、『キーワードスタッフィング』というスパム行為が横行します。これはサイトやページに対して上位表示したいKWを無数に盛り込むことで、そのページのKW比率を高めようというものです。

この問題行為に対応するため2000年代前半にアップデートが加えられます。キーワードスタッフィングなど、当時問題となっていたスパム行為に対して対策が行われました。ただ、この頃から被リンクをたくさん受けているページが上位表示されるということが次第に浸透し、被リンクによるSEO対策が本格化します。

2010年前後になると、意図的な自作自演の被リンク対策に対してペナルティが与えられるようになります。次第にコンテンツの中身が見れるようになり、有益なサイト作りを推奨するコンテンツSEOという言葉が流行りだします。ただ、依然として被リンクによるSEO効果は高い状況でした。

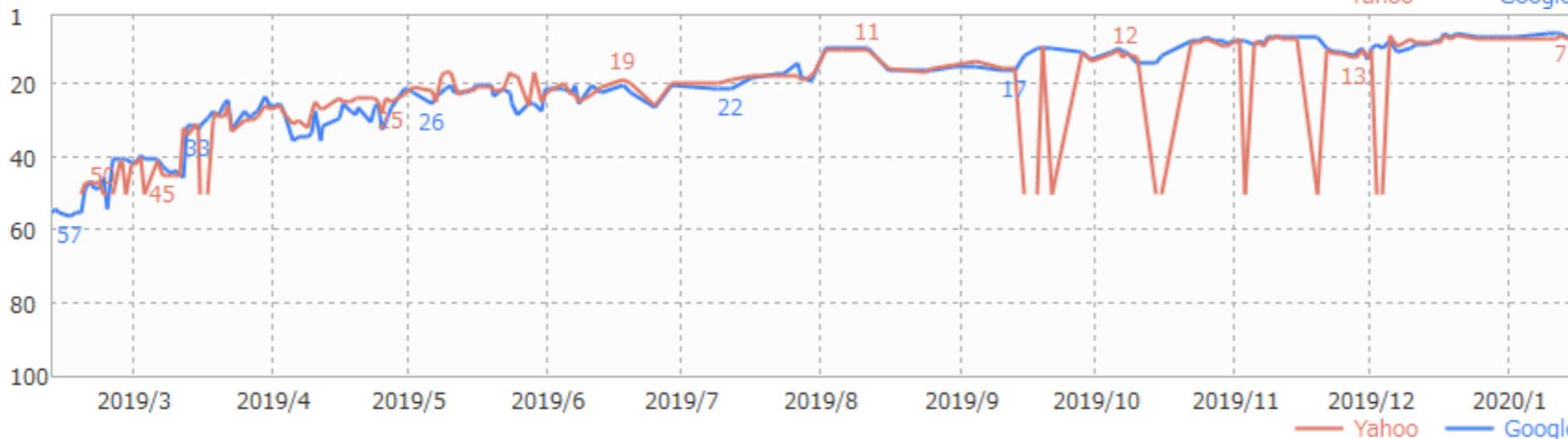
そして現在、驚くべきことに被リンクによるSEO効果は2010年以前に戻ってしまった印象です。つまり、被リンクが上位表示の要素として多くのウエイトを占めている状況です。



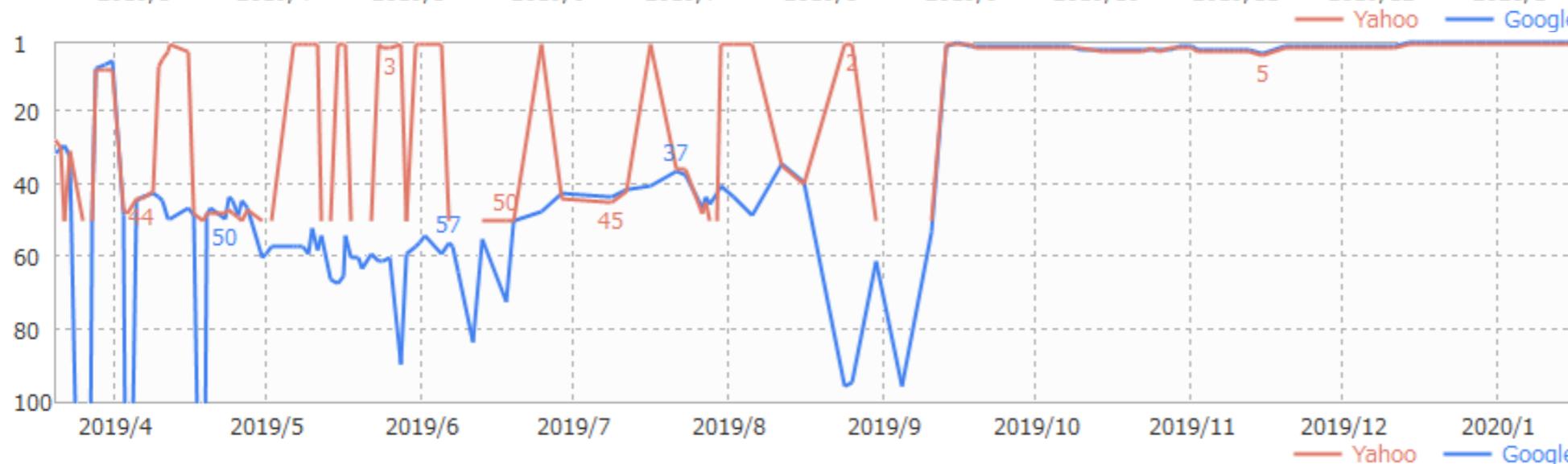
実際の例を見てみます。以下の2つのグラフは、僕が検証を兼ねて作った2つのサイトの順位推移です。狙っているKWはどちらも同じで、『商標+評判』というような超王道KW。そして、サイト規模もほぼ同じ。内容は違いますが、コンテンツの力の入れ方に大差はありません。唯一違うのは、ドメインです。上から純に『新規ドメイン』、『新規ドメイン+リンク』、『中古ドメイン』です。



新規ドメイン



新規ドメイン
+バックリンク



中古ドメイン

以下がそれぞれの詳細になります。

新規ドメイン

- 新規ドメインで作成
- SEO対策は一切していない
- メインKW 『商標+評判』
- プラットフォーム 『SIRIUS』
- ページ数12ページ
- TOPページ約5,000文字
- 下層約3,000文字/1記事

新規+バックリンク

- 新規ドメインで作成
- 中古ドメインでのバックリンクによるSEO対策
- メインKW 『商標+評判』
- プラットフォーム 『SIRIUS』
- ページ数10ページ
- TOPページ約5,000文字
- 下層約3,000文字/1記事

中古ドメイン

- 中古ドメインで作成
- 中古ドメインは18本程度の信頼性の高いリンクが付いてた
- バックリンクはなし
- メインKW 『商標+評判』
- プラットフォーム 『SIRIUS』
- ページ数15ページ
- TOPページ約5,000文字
- 下層約3,000文字/1記事

※商標はすべて同じ商標。つまり、3サイトは全て同一KWです。

自分で言うのもなんですが、この検証結果にはかなり大きな意味があると思っています。

ドメインやバックリンク以外のサイト内部は、ほとんど同じ条件下でサイトを作成した結果、順位変動にこれだけの大きな差が生まれました。

これはつまり、バックリンクが順位変動に大きな影響を与えているということが言えるのではないのでしょうか。

『良いサイトを作っていれば上位表示する』

確かにそれが検索エンジンのあるべき姿です。

しかし、それはあくまでも理念であって、現状の検索結果はそうならないということを知っておくべきなのです。

被リンクだけで上げることが出来るのか？

ここで疑問に思う人もいるはずです。

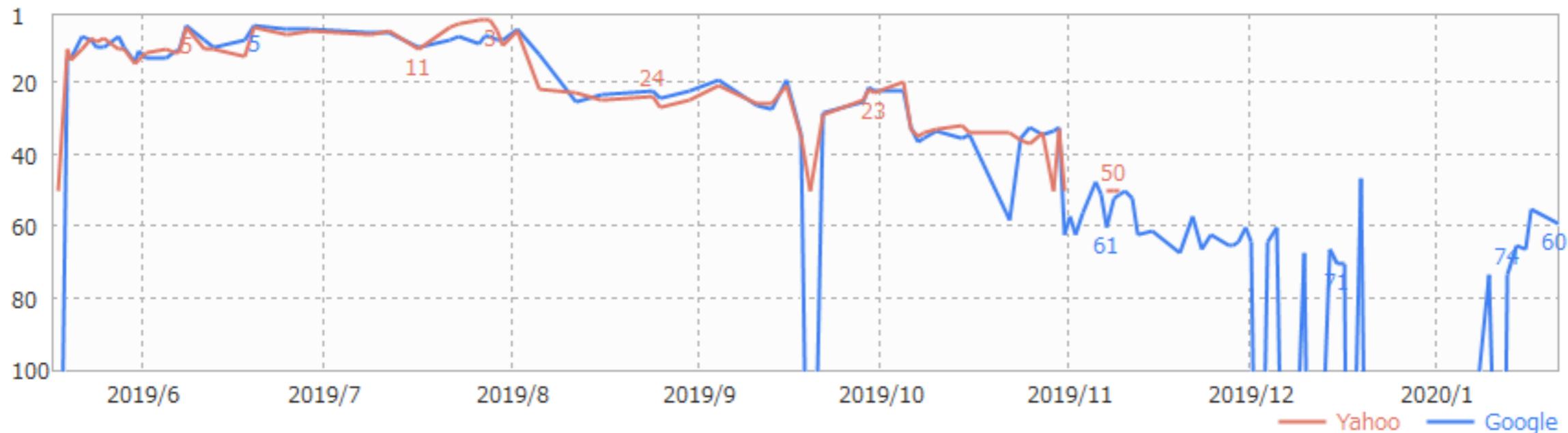
『そんなに被リンク(バックリンク)の効果が大いなら、コンテンツは適当でも良いんじゃない？』

つまり、KWだけを意識した適当な記事を書いて、後は中古ドメインをメインにするなり、バックリンクを使うなりして力技で上げていけば良いのではないかとのことです。

アフィリエイトで一番時間を使うのはコンテンツを考えたり作成したりすることなので、もしコレが実現するのであれば、確かに楽に稼ぐことができます。

そこで、これについても実際に検証してみました。

以下にもっとも分かりやすく挙動した例を挙げます。



これは競合の少ない商標KW単体の検索順位です。

ドメインは中古ドメインを使い、2019/6～2019/10の間に1ヶ月に1回ペースでリンクを送りました。

ただ、**サイトのコンテンツはツール記事を使用しています。**（つまり意味の通らないめちゃくちゃな記事）

その結果どうでしょうか。

中古ドメインにはある程度良いものを採用したし、バックリンクにもSEO効果があると思われるものを使ったのに
もかかわらず、検索順位は徐々に落ちていっているのが分かります。

このサイトはツール記事なのにもかかわらず、サイト公開直後に1ページ目に入っています。

このことから、使っている中古ドメイン自体はかなりSEO効果の高いものであるということが分かるでしょう。

さらに、リンクを送り続けているのに、どうして検索順位は下がったのでしょうか？

答えは1つしかありません。

コンテンツです。

この検証結果から分かるのは、上位表示の要素にはコンテンツも大きく関係しているということです。

これが一昔前と大きく違うところ。

10年前とかであれば、コンテンツはどんなものであっても、バックリンクが強ければ上位表示できていました。
しかし、2020年現在は一時的には上位表示できても、コンテンツが適当だと、すぐに順位が下がってしま
うということが分かりました。

ここからは憶測になりますが、おそらくアクセスが入った後、Googleはユーザーの挙動を見えています。

上位表示されると、少ないながらも検索して入ってくる純粋なアクセスというものが生まれます。

そのユーザーがどのような動きをするのか？によって、上位の順位を決定しているのでしょう。

先の例で言えば、ドメインの力で上位表示はしたものの、意味の通らない（読めない）ツール記事であったため、
入ってきたユーザーがすぐに離脱し、順位が下がっていったと思われます。

※離脱=サイトから出ていくという意味

再度掲載させていただきますが、この一連の検証結果から、行き着いた結論がこちらです。

| | |
|---------|------|
| コンテンツ | ホワイト |
| 集客(SEO) | ブラック |

コンテンツ：どこまでも検索ユーザーのことを考え、検索してきたKWに対して最適なコンテンツを返すように心がけます。その検索KWでは日本で一番のコンテンツを返すことを目的とし、ユーザーが新たに疑問を持たないようなわかりやすいコンテンツを作ります。

集客(SEO)：検索順位を上げるために自作自演のバックリンクを送ります。上げたいKWが強い場合には、メインサイトにも中古ドメインを使います。

ちなみにですが、バックリンクを使うと『サイトが飛ぶ』と思っている人が多いです。

ただ、ここについても誤解が多く、コンテンツがしっかりしていれば、そんな簡単に飛ぶことはありません。少なくとも、僕が管理しているサイトのなかにはバックリンクが原因で飛んだと思われるものはほとんどありません。

前述したとおり、ホワイトで作っていても飛ぶときは飛びますので、それを考えると寿命はほとんど同じかと思っています。

ゴリゴリのブラックでサイトを作っている人は、『サイトが飛ぶかもしれない』と思ってどこか手抜きの内容になってしまいます。

しかし、僕はそんなことは関係なく、コンテンツ自体は本気で作成しています。

これこそが、**周りが報酬を落としている中でも、僕が報酬を伸ばしている大きな理由のひとつ**だと思われます。

サンプルここまで